

2017年4月24日　日本テレビ 定例記者会見

《要旨》

＜発表＞

・映画「ラストコップ」公開

映画「ラストコップ」は地上波でのドラマ放送、Hulu での спинオフの配信に次いで、5月3日(水)に公開する。非常に楽しい映画になっているので、劇場でご覧いただきたい。

1. 視聴率動向と編成戦略

・視聴率データ

先週も三冠王を獲得し、年間では14回目、新年度は3週連続で三冠王だった。他局のスポーツコンテンツなどの影響を受けたが、新年度のスタートとしてはまずまずだった。

2. 営業状況

・放送収入

年度の放送収入に関しては、決算発表が控えているので見通しなども控えるが、足元の状況では4月、5月の関東地区のスポットは前年に比べてやや厳しい。

・放送外収入

名探偵コナンのシリーズ作21作品目、「から紅の恋歌」が4月15日に公開された。スタート時の興行収入は過去最高を記録した前作を超える、素晴らしいものだった。

イベントではディズニー映画の原画を展示する「ディズニー・アート展　いのちを吹き込む魔法」が4月8日からスタートし、非常に好調だ。

また、舞台は山崎賢人主演の「里見八犬伝」を再々演中。山崎さんは2度目の主演で、券売は前回より好調だ。また、4月22日からは「丸美屋食品ミュージカルアニー 2017」が始まった。今回から演出家が代わったことについても非常に評判がいい。子どもたちの演技や、細かい演出が緻密に組み合わされていて、今後10年間の土台づくりができた新生アニーだといえる。

3. その他

・ JOCDN への他局の資本参加に関して

昨年 12 月に IIJ と日本テレビ放送網で設立した JOCDN に対し、4 月 3 日に民放 14 社が出資し、各社と協力してこの会社を育てていく体制が整った。動画の配信事業は各テレビ局にとっても大きなテーマになってきていると思う。配信コストを下げることができれば事業として非常にメリットがあるので、できるだけ多くのテレビ局に使っていただきたいという想いでいた。さらに単なるユーザーではなく、一緒に会社を育てていければという趣旨を各社にご理解いただき、出資に応じていただいた。民放各局が一緒に運営できる CDN の会社ができたということは非常にありがたい。この先の運営方針は、出資している各社の意向等も聞きながら JOCDN が考えていく。

また、4 月 3 日に各社に出資していただいた後、報道の一部でこれが民放の同時配信を視野に入れた動きではないかという見出しの記事もあったが、JOCDN を設立し、各局に出資を求めてきたことと、私たちが常時同時配信をやるかどうかということとは関係ない。

・ インターネット同時配信に関して

同時配信に関しては、日本テレビはかねてより災害時の緊急報道等を同時配信したり、有料ではあるがジャイアンツ戦というコンテンツもある。今後もそういったニーズがあり、ビジネスになるものについては同時配信も選択肢としてないわけではないが、常時 24 時間同時配信をすることは、現時点では事業性の観点から時期尚早と考えている。

・ Hulu に関して

Hulu では 5 月 17 日にシステムを全面的に更新する。今までのシステムはアメリカの Hulu に依存していたので、独自の機能向上が非常に難しかった。これからは自前のシステムになり、迅速に機能のアップができるようになる。先日のリハーサルで試したが、非常に機能は良くなり使いやすくなった。ジャイアンツ戦のようなライブ配信がスマホで見られるようになり、レコメンド機能や検索機能等々も非常に改善され、多くの機能が加わった。それに合わせてコンテンツの強化、充実も図っている。様々な Hulu オリジナルコンテンツも用意されていると聞いている。Netflix やアマゾンとは違い、私たちテレビ局がもつコンテンツと一層密に連動展開できることが Hulu の強みともいえる。これまでとは相当違った Hulu になると思っている。ぜひ期待していただきたい。

・ 動画配信事業に関して

日テレ NEWS24 のインターネットのライブ配信が始まった。私たちは報道機関なので、できるだけ多くの人にニュースを見ていただくことが狙いだ。ニュースをスマホで見る人が多いことを受け、スマホユーザーの要望に応えられるようにした。

・ 24 時間テレビについて

24 時間テレビが今年 40 回目の節目を迎える。ここまで続いた最大の理由は、やはり関係者や視聴者の皆様の支持があったからこそだと思う。福祉車両もたくさん福祉団体等に贈呈することができた。

24 時間テレビは私たちの社会貢献の 1 つとして、非常に重要なイベントであり番組である。系列局もみんな参加してくれている。この先もさらに関係者や視聴者の皆様に支持される番組に成長させていきたい。今回のテーマは「告白」で、グループを超えて、嵐の櫻井翔さん、KAT - TUN の亀梨和也さん、NEWS の小山慶一郎さんという、伝える力を強く持った三人のパーソナリティにお願いした。応援していただきたい。

【出席者】

大久保好男 代表取締役 社長執行役員
中山良夫 取締役 執行役員 事業局長
福田博之 執行役員 編成局長

(了)